

3年現代文B「プレゼンテーションをしよう」

○学習指導案

- 1 科目 現代文B(3単位)
- 2 単元名(教材) プレゼンテーションをしよう(内山節「自由論」第9章)
- 3 単元の目標
 - (1) 目的に応じて、収集したさまざまな情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現しようとする。(関心・意欲・態度)
 - (2) 目的に応じて、収集したさまざまな情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現する。(話す能力・聞く能力)

4 単元の指導計画

配当時間	学習活動の概要
1次(1時間)	「日本と欧米のさまざまな違いについて、具体例を挙げ、その原因を考える」というテーマに沿って、プレゼンテーション(1回目)の準備をする。(グループ活動)
2次(1時間)	発表(1回目)(パフォーマンス課題)と相互評価を行う。発表は録画する。
3次(1時間)	2次の録画を見、指導者の講評を聞く。その後、TEDの動画を見て、グループでプレゼンテーションを評価するためのルーブリックを作成する。
4次(1時間) ※本時	西高の1年生に、今、お薦めのメディア作品を紹介する」というテーマで、プレゼンテーション(2回目)を作成し、グループ内で発表・批評する。(グループ活動)
5次(1時間)	発表(2回目)(パフォーマンス課題) 発表は録画する。

5 本時の展開

	学習活動(生徒)	指導上の留意点(教員)	評価の観点
導入	前時の学習内容を振り返り、本時の学習内容を知る。	・前時のノートから、振り返りとルーブリックをそれぞれ数例紹介する。	(1) 関心・意欲 態度
展開	発表の準備 ・グループ内で各自のプレゼンテーションを発表し、改善を図る。	・相互批評を通じて、作品をブラッシュアップさせる。	・グループ活動の観察 (2) 話す・聞く 能力
終結	本時の学習内容を振り返る。	次時の発表の準備を進めておくよう指示する。	・プレゼンテーションの観察

6 評価手法

・パフォーマンス課題

「日本と欧米のさまざまな違い」「今お薦めのメディア作品」(プレゼンテーション、各3分以内)

ルーブリック

観点	評価基準	
1 資料を適切に用いて、自分の考えを、聞き手に分かりやすく伝える。(話す能力・聞く能力)	A	資料を適切に用いて、自分の考えを、聞き手に分かりやすく伝えることができる。
	B	資料を適切に用いて、自分の考えを、聞き手に伝えることができる。
	C	資料を適切に用いていない。または、自分の考えを、聞き手に伝えることができない。
2 声の大きさやテンポに気を付けて話す。(話す能力・聞く能力)	A	声の大きさやテンポが適切であり、身ぶり手ぶりや表情などを効果的に使うことができる。
	B	声の大きさやテンポが適切である。
	C	声の大きさまたはテンポが適切でない。

○授業実践の振り返り

昨年からグループワークなどを多く体験してきた生徒たちだったが、2次の発表で、聞き手の顔を見て話せる生徒が少ないことに驚き、こうした体験が欠如していることを痛感しました。また、フリップボードの使用を認めたところ、フリップで顔を隠す、フリップに原稿を貼り付けて読み上げるなどの行動が続出しました。視覚に訴えるものは効果的だが、形態に工夫が必要だと感じました。

話の内容が伝わっているかを知るために、聞き手に題材、主張、根拠を記録させたところ、ほぼ内容は伝わっていました。話の内容は構成できるが、それを効果的に伝えるスキルがないのだと分かりました。

そこで、2次の発表の録画を皆で見る批評会を行いました。生徒たちは自分の映像を見て、「立ち方が見苦しい」「下を向いている」などの的確な批評をしていました。録画を見て、自分のプレゼンテーションを自ら評価することにより、生徒自身の学びが深まっていく様子を感じられた。

プレゼンテーションは、内容や展開を工夫し、聞き手にとって分かりやすいものにすることが大切だと考えるが、2次（1回目）の発表では聞き手を特に想定しなかったため、それも失敗の原因であろうと考えました。そこで、2回目のプレゼンテーションについては、次のような具体的な指示をしました。

11月11日に、第2回プレゼンテーション大会を行います。今回のテーマは、「西高の1年生に、今、私が薦めるメディア作品」とします。1回目の反省を踏まえて、ぜひ、準備をしっかりとってきてください。時間は1分以上3分以内。聴衆は40名。資料は、黒板に貼る1枚までとします。

2回目の発表に向けて、生徒たちは、準備段階からさまざまな工夫を凝らしていました。今回は事前にスクリプトを作成させましたが、それを見ながら発表する生徒はおらず、目線・話し方・声の大きさ・身振りなどの点で、驚くほどスキルアップしていました。これは、自分たちの発表の映像を見て振り返りをし、さらに一流の実践を見たためであろうと思われます。プレゼンテーションの能力を養うには、このような方法が効果的であると分かりました。

参考として、5次のプレゼンテーションについての生徒の振り返りを以下に示します。

【資料1 第2回プレゼンテーション大会 生徒の振り返り】

- ・今回はメディア作品がお題だったので、調べたり、発表の原稿を考えたりしている時間がすごく楽しかったです。自分の好きな作品を紹介できることが、どれも上手かった理由の一つではないかと思いました。
- ・世界の最先端のプレゼンを見ることが、よい刺激になったと思います。
- ・1回目のプレゼンテーションから2回目のプレゼンテーションまでの成長がすごいなと思いました。
- ・こんな経験は今まで無かったのでけっこう苦勞したりしたけれど、将来役に立ちそうだなあと思った。
- ・本番で失敗することを避けるには練習を重ねることが大切だとよく分かりました。また、他人に見てもらい、自分では気付かなかったところを知り、修正することも大切だなと思いました。
- ・発表者が、聞き手を意識したプレゼンテーションをしていたのが印象深かったです。